

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【自然科学系】

講義内の提出物、最終課題、実習の取り組み状況

あくまでテストの結果と授業の態度を見て成績を出している。

期末試験の点数により評価、答案に成績を付けて返却
999, $D < 40 \leq C < 50 \leq B < 60 \leq A < 80 \leq S$ で採点, 999, $D < 60 \leq C < 70 \leq B < 80 \leq A < 90 \leq S$ に換算.
化学II: 999_1, D_8, C_14, B_7, A_8, S_2

出席15点, 筆記テスト85点の合計点で成績評価を行っている。35名中, 不合格者は2名あった。全体的にB評価が多かったが, Sも2名, Aも10名以上いた。

試験と授業への参加態度

大気・水圏科学
出席(回数)、練習問題の板書(実施の有無)、中間・期末試験
大気・水圏科学実験
出席(回数)、授業態度(課題への取り組み)、レポート(テーマの広がり・深さ、データの作図、考察)

(1) 授業で扱った内容に関連して課したレポート(実験のデザイン)で評価
(2) 中間と期末の2回のテスト結果による。受講生によってはテスト直しの提出を課しその結果を加味

課題, 授業中の実習の提出物, 中間試験, 期末試験による総合評価。

テスト・レポート課題・出席状況をそれぞれ数値化したものに重み付けを施した計算式を用いて算出している。

個人としては、各まとめりごとのミニレポートと最終レポートと授業への参加状況。
グループとしては、各まとめりごとの課題(発表)。
の両方を加えて。

出席状況、レポートの提出、試験内容の理解等を総合的に評価した。

主に期末試験の成績に依る。
問題は標準的なものとし、学生の到達目標を明確にした。

・期末試験を重視している。授業によって異なるが、期末試験の成績を70~80%としている。残りの20~30%は提出課題の成績。

第1回目のガイダンスで説明したとおり、基本的な事柄に関して理解できているかいないかが基準。